

指定管理者候補の選定結果について（北九州テレワークセンター）

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和4年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定管理の概要

(1) 施設概要

名称：北九州テレワークセンター

所在地：北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号

アジア太平洋インポートマート（AIMビル）6階

設置目的：広く市民等に情報通信技術の利用の場を提供し、事業の展開、研究開発等への情報通信技術の活用を推進することにより、情報通信産業の振興並びに中小企業者の育成及び支援の強化を図り、もって雇用機会の創出及び産業の活性化に寄与する。

構造：鉄筋コンクリート造

延床面積：3,956.94㎡（AIMビル6階の一部）

施設内容

オフィス部分	一般オフィス（21室） スモールオフィス（18室）
共用部分	会議室A、B、C（セミナールーム） その他共用部分（廊下・エントランス等） コワーキングスペース（現指定管理者自主事業エリア）

事業内容：施設の管理に関する業務（設備の保守管理、環境維持管理、施設保全等）、施設の運営に関する業務（施設の提供、使用者へのサービス、広報）、創業支援に関する業務（問合せ対応、個別伴走支援等）等

(2) 指定期間

令和5年4月1日～令和10年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要（応募団体）

名称：COMPASS 共同事業体

所在地：北九州市小倉北区魚町1丁目1-9

構成員：寶結株式会社（代表）、株式会社ATOMica、GMOクリエイターズネットワーク株式会社、一般社団法人まちはチームだ

構成員の所在地と主な業務内容

- ・ 寶結株式会社

所在地：福岡県北九州市小倉北区魚町1丁目1-9

主な業務内容：行政業務等の運営代行、システム開発及びコンサルティング、ネットワーク施工、エンジニア派遣等

- ・ 株式会社 ATOMica

所在地：宮崎県宮崎市橘通西3丁目10番32号宮崎ナナイロ東館8階

主な業務内容：ソーシャルコワーキング・コミュニティテックの企画・開発・運営、コワーキングスペースの立上げ・運営支援等

- ・ GMOクリエイターズネットワーク株式会社

所在地：東京都渋谷区桜丘町26番1号セルリアンタワー

主な業務内容：フリーランス向け金融支援サービス等

- ・ 一般社団法人まちはチームだ

所在地：北九州市小倉北区京町2丁目2番19号3階

主な業務内容：人材育成・能力開発のための教育事業、マーケティング・リサーチ及び経営情報の調査・収集及び提供、旅行業法に基づく旅行業、インターネットによる広告業務及び番組配信、各種イベントの企画・製作・興行

2 指定の経緯

令和4年	8月	3日	募集要項の配布開始
令和4年	8月	17日	募集説明会の開催
令和4年	9月	28日	募集締め切り
令和4年	10月	26日	指定管理者検討会の開催
令和4年	11月		指定管理者候補の決定

(1) 応募資格

- ① 法人その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- ② 本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③ 募集説明会に参加していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が募集説明会に参加していること。)

※複数の団体により構成するグループによる応募について

グループでの応募も可能です。その場合は、応募時に共同事業体を結成し、代表団体を定めていただき、上記の要件を、その代表団体に求めます。

なお、共同事業体の代表団体は、構成員中最も業務履行能力の大きい者とし、出資比率は構成員中最大でなければならないこととします。

- ④ 共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。また、共同事業体内でのそれぞれの責任分担等を明確にすること。

(2) 応募状況

説明会参加：4 団体

応募件数：1 団体

・COMPASS 共同事業体

(寶結株式会社 (代表)、株式会社 ATOMica、GMO クリエイターズネットワーク株式会社、一般社団法人まちはチームだ)

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

【学識経験者】吉村 英俊 (北九州市立大学経済学部経営情報学科 教授)

【財務関係専門家】小竹 エリナ(アネーラ税理士法人 北九州ひびきの事務所
公認会計士)

【民間企業】照沼 大 (日本ベンチャーキャピタル株式会社
シニアパートナー)

【創業支援機関】能美 育恵 (北九州商工会議所 専門相談センター長)

【事業成長支援機関】奈良 弘之 (独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ)
北九州貿易情報センター 所長)

5 選定基準

選定基準	選定のポイント	配点
1 指定管理者としての適性		15
(1) 施設の管理運営 (指定管理業務) に対する理念、基本方針	○応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営 (指定管理業務) に対する理念や基本方針を持っているか。	5
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	○長期間安定的な管理運営 (指定管理業務) を行っていくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。	5
(3) 実績や経験など	○応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。 ○応募団体が施設の管理運営 (指定管理業務) に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。 ○複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。	5
2 管理運営計画の適確性		85
【有効性】		40
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	○施設の管理運営 (指定管理業務) に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。 ○施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。 ○施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。	30

(2) 利用者の満足度	○利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。 ○利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。 ○利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。 ○利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。 ○その他、サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。	10
【効率性】		25
(3) 指定管理業務に係る経費	○指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。 ○収入が最大限確保される提案であるか。	15
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	○収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。 ○経費の配分は適切であるか。 ○積算根拠は明確であるか。 ○再委託が適切な水準で行われているか。	10
【適正性】		20
(5) 管理運営体制など	○施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。 ○施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。 ○施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。 ○職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。 ○地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。	10
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	○施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。 ○利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。 ○日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。 ○防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。	10
合計		100

「管理運営計画の適確性」の提案を特に重視する。また、選定基準のうち、「1(1)施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針」や「1(2)安定的な人的基盤や財政基盤」、「2(6)平等利用、安全対策、危機管理体制など」は、最低限満たしておくべき条件であり、この項目が一定のレベルに達していないと判断される場合などは、落選となる場合がある。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (= 審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					検討会 審査結果	得点
			構成員						
			A	B	C	D	E		
COMPAS S 共同 事業体	1 指定管理者としての適性								
	(1) 施設の管理運営に対する 理念、基本方針	5	4	5	4	4	4	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政 基盤	5	5	5	4	3	4	4	4
	(3) 実績や経験など	5	5	5	4	5	4	5	5
	2 管理運営計画の適確性								
	【有効性】								
	(1) 施設の設置目的の達成 に向けた取組み	30	4	5	4	4	4	4	24
	(2) 利用者の満足度	10	4	5	4	4	5	4	8
	【効率性】								
	(3) 指定管理料及び収入	15	3	4	3	3	4	3	9
	(4) 収支計画の妥当性及び 実現可能性	10	4	4	3	3	3	3	6
	【適正性】								
	(5) 管理運営体制など	10	4	5	4	5	4	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、 危機管理体制など	10	3	4	4	4	4	4	8
	合 計	100	77	93	75	77	80	—	76
地元団体に対する優遇措置 (5点)								81	

(2) 検討会における主な意見

- ・COMPASS 共同事業体の熱意を感じられた提案であり、これまでの実績や経験から安定した運営が期待できる。
- ・それぞれの共同事業体の強みを生かした組み合わせになっており、スタートアップ企業がスタートアップを支援するという形は北九州発のリーディング的な取り組みになると期待が持てる。
- ・今後の事業は、量の拡大はもとより、具体的な成果含め質へのこだわりについても期待したい。

(3) 検討会における検討結果

- ・検討会としては、合計得点や提案内容を総合的に勘案し、COMPASS 共同事業体を指定管理者として相応しいと判断する。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。
なお、付帯意見として以下を付す。
- ・収支計画、共同事業体の財務面について、市側でしっかりとウォッチしていただきたい。
- ・今後5年間の中で、新機軸的な色々な事業を立ち上げていただきたい。
- ・入居者がボード企業へ日常的に気軽に相談できる体制がとられるようしっかりとフォローしていただきたい。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、COMPASS 共同事業体を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・北九州テレワークセンターの設置目的及び市の施策についての理解もあり、「日本一起業しやすいまち」を作っていくという強い熱意が感じられる。
- ・これまで同施設の運営に携わってきた経験と実績を有しており、今後も安定的に施設運営を行っていく素地が備わっていると評価できる。
- ・地域に根差した施設運営を謳っており、市内における他のコワーキング施設との連携強化も期待できる。
- ・共同事業体にスタートアップ企業も加わっており、本市におけるスタートアップエコシステムの形成・強化にも資するものと期待される。

8 提案額

令和5年度	95,900千円
令和6年度	95,900千円
令和7年度	94,900千円

令和8年度	93,900 千円
令和9年度	92,900 千円

北九州市テレワークセンター指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	COMPASS 共同事業体
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <p><理念> 「日本一起業家に優しいまち」をつくり、ビジネスによる SDGs 未来都市を実現する</p> <p><基本方針></p> <p>①北九州市 SDGs スタートアップ・エコシステムに則り、北九州テレワークセンター（COMPASS 小倉）の運営を行います。</p> <p>②産学官一体となって世界の SDGs に資するユニコーンの輩出を目指すための創業支援の中核施設を目指します。</p> <p>③北九州テレワークセンター（COMPASS 小倉）をひとつのメディアとして広く周知させます。</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤 施設の運営において経験豊富な人材を保有しています。上場系子会社などを含むため盤石な財政基盤となっております。</p> <p>(3) 実績や経験など 同様、類似施設の開業、運営実績が約 30 施設あります。約 1,000 件を超える関連イベントの実績を有します。</p>
<p>2 管理運営計画の適確性</p> <p>【有効性】に関する取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み 施設の設置目的に準拠し、下記の管理運営方針を基に運営を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々は市基準に則り、COMPASS 小倉の更なる発展と利用促進に寄与します。 ・我々は北九州 SDGs に根差し、持続可能（サステイナブル）な運営を実施します。 ・我々は市の目的の実現のため最適な体制を提供し続けます。 ・我々は地域コミュニティ活動（まちおこしイベントなど）を実施します。 ・我々は COMPASS 小倉の認知度を向上させる独自メディアで発信力を高めます。 ・我々はあらゆる創業支援機関と連携します。 <p>また、市が掲げる「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画」が共同事業体として支援すべき政策であるという認識のもと以下 6 つの取組みを実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、創業相談窓口を主体とした創業期の包括支援 2、アクセラレーションプログラムの実施 3、グロース支援 4、ピッチイベントの実施 5、学生向けアントレプレナーシップ教育 6、北九州産業学術推進機構との連携 <p>(2) 利用者の満足度 上記（1）施設の設置目的の達成に向けた取組みを実施することで、利用者の増加、利便性が高まるため、十分に満足度も向上すると考えられますが、より満足度を向上させる施策として下記項目を実施いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度目標の設定 ・ファクタリングサービス（フリーランス）の割安提供 ・日々のコミュニケーションにおける意見の収集 ・利用者満足度アンケート ・利用者ニーズを踏まえた業務改善サイクル ・利用者からの相談又は苦情に対しては、常設の相談窓口で対応 ・円滑かつ迅速に苦情処理を行うための体制・手順 ・オフラインでの情報提供 ・オンラインでの情報提供 ・サービス維持・向上（エンハンスト）の具体案 ・エンハンストされたサービスのエスカレーション方法について

<p>【効率性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 指定管理業務に係る経費 指定管理料については、上限額：95,987千円に対してかかる費用として計画致します。 また収入を上げる取り組みについては、オフィス入居率の維持向上を図るとともに、会議室の利用率を底上げするための広報活動を徹底して行います。</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 収支計画の妥当性については過去5か年の実績を踏まえ、かつ前述までの取り組み事項に対して適切な予算配分を設定します。また、再委託先の選定においては、施設の運営にあたり、共同事業体だけでなく、ボード企業（支援に関わる）とも連携を強固に図ることを想定しているため、再委託の際は当該企業を優先いたします。加えて、指定管理業務以外の再委託についても、地元企業及びボード企業を優先しますが、専門的な分野などは適切な業者へ再委託をいたします。</p>
<p>【適正性】 に関する 取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など 配置人員については、施設管理運営にあたって必要な資格・経験を保有しているものを登用し、スタッフのスキルアップ等の教育についても実施します。 また、地域の住民や関係団体などとの連携や協働の為、イベントやセミナーを実施していくとともに、特にCOMPASS小倉同様に北九州市SDGsスタートアップ・エコシステムにおいて、重要な役割を担う、公益財団法人北九州産業学術推進機構や市内のコワーキング施設との密接な連携を図ります。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 個人情報保護方針をもって適切な、個人情報の取り扱いを行います。 共同事業体代表企業（寶結株式会社）はプライバシーマークの認定を受けております。 その他以下の項目におけるルールや基準を制定し、適切なフローやマニュアルを設けることで利用者にとって安心して安全な施設運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の平等利用について ・ユニバーサルデザイン ・点検による未然防止策の徹底 ・防犯、防災対策業務 ・非常災害時の対応

【提案額】

令和5年度	95,900千円
令和6年度	95,900千円
令和7年度	94,900千円
令和8年度	93,900千円
令和9年度	92,900千円

北九州テレワークセンター指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和4年10月26日(水) 9:00~11:00
- 2 場 所 北九州テレワークセンター 会議室 A
(北九州市小倉北区浅野三丁目8番1号 AIMビル6階)
- 3 出席者 (検討会構成員) 吉村構成員(座長)、小竹構成員、照沼構成員、
能美構成員、奈良構成員
(事務局) 産業経済局地域経済振興部長
産業経済局スタートアップ推進課長
産業経済局スタートアップ推進係長及び職員

4 会議内容

- 事務局より当日のスケジュール、審査にあたっての留意点等を説明
- 構成員の互選により座長を選出
- 応募団体 (COMPASS 共同事業体) による提案概要のプレゼンテーション
- 応募団体 (COMPASS 共同事業体) への構成員によるヒアリング

(構成員) これまでの取り組みによって確実に創業の機運が高まっているのではないかと思うが、提案の中で、これからの裾野をもっと広げる必要があるという話があった。若い人と接する中で感じることだが、大学1~2年生では「将来起業してみようかな」、「自分のお店持ってみようかな」という学生も比較的いる。ただ、1年ぐらい経つと、「いや公務員になろうか」、「地元の地銀に入ろうか」など、安定した生活を志向しはじめる。なぜかと思えば、結構その親世代がそう仕向けているということも多い。現在50歳前後の親世代たちは、バブルがはじけてから社会人になった方々で、ずっと経済の右肩下がりが経験しておらず、安定を一番に求める傾向がある。そういった意味で親世代の意識改革やマインドセットをやっていかないと、せっかくの若い人のチャレンジ精神が摘み取られてしまうのではと思うが、その辺りをどういうふうにお考えなのかお聞かせいただきたい。

(応募団体) 難しい質問を頂いた。以前、北九州市内で大学を横断的に学生チームを作って町おこしイベントをやったことがあるが、やはりこの子たちも東京に就職していった。今彼らが25歳ぐらいになり、20~30名のうち5名ぐらいは起業し、うち1名は今北九州に帰ってきて、起業家として学生とのネットワーク形成をしている。ほとんどの人が就職していく中、親世代に話

をしていくことも大事だが、小さい時から安定志向というのが日本では刷り込まれていると思うので、就職した方がいいということを一回肯定した方がいいかなと思う。彼らには、「そこでちゃんと鍛えて『型』を作っ来ていよ」と言っている。「我流でいくとここまでしか伸びないけど、『型』を作っているところまで行けるから」と。今すぐ起業しなくていいという雰囲気結構大事かもしれないと思っている。

(構成員) お話があったように、やはり一旦就職して社会の仕組みをきっちり勉強しながら創業した方が、伸びが違うのではないかと思う。

(構成員) 3点質問がある。

1点目は、提案書に「ボード企業」とあるが、提案書に列挙されている再委託先を意味するのか。

2点目は、コワーキングエリアに会議ブースを設置する等の話は非常にいいと思うが、一方で募集要項の「自主事業の提案について」には商談スペースの確保が明記されている。商談ブースの確保についての提案が薄いように思うが、お考えを聞きたい。私もCOMPASS小倉はよく利用するが、ちょっとした打ち合わせするときに声が響いてしまう。ビジネスの話をするときにちょっと入る場所が今までなかった。オンラインブースという形ではなく、商談スペースの設置ということを積極的にご検討されたらどうか。

3点目は、提案にある有料ドロップインスペースの無料開放だが、昨年他の施設を利用した際、時間帯によっては、受験や資格取得に向けた勉強利用の方が結構多い時間もあった。もし無料にした場合、受験勉強をする学生等が長期間独占的に机をずっと使うことも危惧されると思うが、その辺をどう考えているか教えて欲しい。

(提案団体) まず1点目。「ボード企業」については、再委託企業になる可能性が高いこともあり明記している。ただ、例えばボード企業の1社は、委託というよりも、西日本全域に広がる営業ネットワークを使ってCOMPASS小倉や北九州市内企業のサービスの営業支援を行うというスキームでの販売提携パートナーシップという側面もある。つまり、再委託先になることも、パートナーシップを結ぶことも考えられる。

次に2点目。商談スペースの確保については、入居企業やコワーキング会員であれば無料で利用できる密室のスペースは現行でも設置しているが、今後においても継続して参りたいと思っている。ただ、ご指摘のとおり、コロナが落ち着き、利用者が増えてきている状況であり、一部有償にはな

ってしまうが、今後の計画としてオンライン会議ブースなど密室のスペースを増やしていく方向性を考えている。

3点目のコワーキングスペースの無料化について。現行は基本的に有料であるため、ご指摘のとおりチャレンジングな考え方になる。ただ、我々がコワーキングスペースを運営した経験では、受験勉強をしている学生もいた方がいいと思っている。例えば彼らが、横で大人や大学生が起業しようみたいな話を聞いて起業に誘発されていく、こういったものもコワーキングにおけるコミュニティ形成の一環かと思う。ある一定以上の入場の制限は現場のオペレーションでカバーリングする必要もあるとは思いますが、今後の活性化に繋がっていくと考えている。

(構 成 員) 2点質問がある。

1点目は、提案書の実績に九工大生の約半分の会員登録をしているという話があったが、どのように巻き込んでいったのか非常に興味深かったので伺いたい。

2点目は、ユニコーンの輩出について。これから5年先どれぐらいフォローして伴走支援をしていくのかということかと思うが、どれぐらいの頻度でフォローするかなどどのように工夫しているのか教えていただきたい。また、これまで相談を受けた中での廃業率の数字の把握や、廃業率を低くするための工夫があれば教えて欲しい。

(提案団体) 1点目の九工大生について。本年5月に九工大戸畑キャンパス内の古い体育館をリノベーションし、新しいコワーキングスペース「GYM LABO」として運営している。既に九工大の学生の半数に使われ、2カ月で来場者1万人を達成することができた。何故これができたのかと振り返ると、地方の学生の溜まっている鬱憤、持て余しているカロリーをどう解消してあげるか、ぶつけてあげる先を作ってあげるか、というのを意識した上でイベントの作成を定期的に行ってきたことが大きいと感じる。専門チーム2名を常駐させ、学生と毎日対話する中で、「こんなことやってみたい」、「どんなこと困っているの」など学生の想いを、ひらすら吸い上げ続ける活動を学内でやり、ニーズを元にして、教授を紹介したり、学外の企業を紹介したりするという活動を続けている。その結果、口コミで多くの学生の利用につながったと思う。

2点目。創業相談を受け付け、法人が廃業に至らないようにどういったことをやるのかということだが、はっきり言えば厳しくやるしかないと思っている。インキュベーションマネージャーの経験で言えば、事業計画一つ書けない、ファイナンスのことも理解していない、ビジネスモデルを作る

こともできない、という人は起業家としては絶対失敗すると思っている。COMPASS 小倉から創業者を生むという点に関しては、ある種そういった厳しい観点をもって、同じ気持ちで創業者に寄り添っていくってところが一つのリスクの排除になってくると思う。

創業後中長期的に継続支援できるか否かに関しては、入居者であれば日々のコミュニケーションをとっていくことが可能だが、部分的には難しい面もある。この5年間で約70社弱の創業に携わり、定期的にコミュニケーションはとり続けているが、1社だけ残念なことに事業をクローズせざるをえなかった企業があった。70分の1という数字ではあるが、今後はその1社すらも出さないようにやっていきたい。

倒産しないような支援という点でいえば、実は入居者に優先的に仕事を発注するようなこともしている。こういう起業家のための公共施設を担う以上は、もし会社が倒れた時でも、反社会的なものでない限り、我々の会社で骨は拾うぐらいの覚悟で運営している。もちろん倒産しない方がいいが、「倒産をゼロにします」というのも嘘だと思う。町全体で起業家にやさしいまちを目指す以上は、倒産したとしても次のセカンドチャンスが生まれるまでは一旦当社でライスワークやってはどうか、といった話をできる形でやっていきたい。

(構 成 員) 提出された財務シートにおいて、売上に対して売掛金の比率が大きいですが、これは前期末直前に大きな売上が立ち、今後、売掛金を回収していくものと理解してよいか。

(提案団体) ご指摘のとおり、決算期末に大型プロジェクトの受注があり売掛金が上がっている。

(構 成 員) 域内で起業を促すという話もあったが、北九州市外から呼んでくるという視点があれば教えて欲しい。

(提案団体) ユニコーンの創出という点で言えば、地元で醸成するだけでは厳しいと思う。伸びそうな会社を引っ張ってくる、北九州市外からもどんどん流入してもらえる施策は打っていきたい。提案書にもある独自メディアもそのうちの一つ。先ほどの優先発注など「北九州で起業したら何か食いっばぐれもなさそう」だとか「北九州で起業したら楽しそうだ」だとか、どんどん広報していくことが大事だと思っている。また、COMPASS 小倉でシード・アーリー期の支援をしているが、市・スタートアップ推進課が別途行っている実証支援や事業化支援など次のステージの支援もまとめて情報発

信して、北九州市でスタートアップすることが如何にプレイヤーにとって良い環境かということを中心に全面的に配信したい。既に域外から誘致してきているが、これらをより促進していくことだと考えている。

(構成員) 収支計画書について1点質問。この様式では、人件費に対して10%かかっているが、直接雇用スタッフ等を確保する場合は消費税がかからない計算になると思う。その場合、事業費やイベント支出、ホームページ運営費などを追加で計上して、より活動を増やしていくという理解でよいか。

(提案団体) ご指摘のとおり。

○構成員は応募団体 (COMPASS 共同事業体) の提案概要のプレゼンテーションと質疑応答を受けて、各自評価レベルを記入。

○構成員は、応募団体の評価レベルを発表し、構成員全員で意見交換。

(構成員) 全体的に点数が高くなったが、全体的に言えば非常に提案者の熱意を感じたというのが率直な感想。直近3年間ぐらいはコロナ禍の影響があったとは思いますが、その中でも相談件数2,800件など実績を重ね、若い方や次なる起業家の取り込みをうまくしているなという印象。事業体の中にスタートアップがいるため、財務面で気になる点はあるが、話を聞いたところ取り組みも蓄積もあり、また延びてくるかと思う。構成団体もそれぞれの強みをうまく利用し、シナジーを生み出す共同事業体になるかなという判断をした。収支計画については消費税の処理等について少し不安があるが、コロナ禍も少しずつ収束し活動が増えいく中、過去の蓄積等を生かし、上手く若い方々を取り組む施策等も聞けたので高い得点となった。

(構成員) 平均点の少し上ぐらいの点数になったが、全体的には安定感があり、実績も経験もあると感じた。今日のプレゼンで熱意自体はすごく感じたし、入居率90%以上をキープしている実績や貢献も理解したが、一方で全体的に新機軸の提案があったらなお良かったという感想だった。共同事業体を構成するスタートアップについては、経営者が戦略的な思考やユニークな発想を持っているし、この組み合わせは妙味があるのではないかと感じる。付帯意見として、共同事業体は成長期の若い企業が多いこともあり、念のため財務面は引き続きよくウォッチした方がいいと思う。

(構成員) 他の構成員と同様、全体的には元気だし、熱意を非常に感じた。創業はモ

チベーションをいかに維持できるかがポイントだと思うので、あれくらいパワフルな方が引っ張っていきやすいし、そういう意味でのメンバーという点で非常にベストじゃないかなと感じて話を聞いていた。戦略的で巻き込み方が上手いスタートアップによる工夫・強みを活かすなど、それぞれの事業体のリソースをうまく活用しながら、新しいことを仕掛けていくという意味では非常に期待性があると感じた。また、オウンドメディアの効果的な活用ということで、今は量的なところにスポットが当たっていると思うが、次は質的なスポットで「こんなにすごい成功事例があった」というところに焦点が当たることを期待したい。いずれにしても元気のいいところが引っ張ってもらえれば、非常にいい成果が出てくるのではないかなという印象だった。

(構 成 員) 他の構成員と同様、実績があつてここまでやってきた安定感はあると感じる。あとユニークなのは、「スタートアップがスタートアップ支援する」という形ができたこと。これは全国の模範になるのではないかな。構成団体には「J-Startup KYUSHU」にも認定された企業もあり、リーディングケースになる気がする。ただ、収支計画については課題も感じた。また、再委託について、募集要項上は基幹的業務を一括して再委託できないこととなっており、その点は整理した方がよいと感じた。加えて、商談スペースの確保について、声が漏れないようなスペースが不足しているという認識があつたならば図面に起こして提案してもよかつたのではないかなと感じた。やはり今後5年のことなので、しっかりやってもらいたい。とはいえ、全体的にはスタートアップがスタートアップを支援するっていう形が箱だけじゃなく、中身も伴っているところは、今後良い方向に向かうのではないかなと感じた。

(構 成 員) これまでの経験から、利用者のこと、色々な懸念事項もよく分かっていると思う。他の構成員からも「安定」という話があつたが、そつなく運用してくれるものと思う。また管理責任者も、現在インキュベーションマネージャーとして事業に取り組んでいる人物が担うということで問題なく運営できると感じる。共同事業体についても、当地で創業関係の仕事をした経験もあるので、北九州のことも承知しているだろうし、何より情熱があるので、問題ないと思う。これまでの5年間はどちらかといえば裾野を広げる量の拡大のような部分に注力し、それはそれで成果が出たと思うが、今後は、他の構成員の話にもあつたように、「こんなユニコーンが出た」、「こんな創業者が出た」など質へのこだわりにも注力してもらい、北九州発の面白い企業を発信してもらいたい。今回の提案は地元の若い人がこの町を

「日本一起業しやすい町にしたい」という思いが伝わって大変好感が持てた。

(構 成 員) 付帯意見として、これだけ大きな業務を運営するコンソーシアムはあまりないと思う。事業の中核をスタートアップが担うこともあり、財務的なども含めて市側で定期的にウォッチされた方がいいと思う。

(構 成 員) 提案書にあるボード企業については、入居者が常日頃から相談できるような連携先であって欲しい。仕事がある時だけお願いするのではなく、常日頃から有機的に連携していることは念を押ししたい。また、市内の他のコワーキングスペースについて、一時的なイベントだけではなく、継続的に交流を図るような工夫を求めていると思う。

○構成員は審査項目毎の議論を踏まえ、各自評価レベルを再考し記入

○各構成員の評価レベルを再確認した上、検討会としての各審査項目の評価レベルを、

1 指定管理者としての適性のうち、

- (1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針について、
評価レベルは、4
- (2) 安定的人的基盤や財政基盤について、
評価レベルは、4
- (3) 実績や経験について、
評価レベルは、5

2 管理運営計画の適確性について

- (1) 設置目的の達成に向けた取り組みについて、
評価レベルは、4
- (2) 利用者の満足度について、
評価レベルは、4
- (3) 指定管理料に係る経費について、
評価レベルは、3
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について、
評価レベルは、3
- (5) 管理運営体制について、
評価レベルは、4
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて
評価レベルは、4

が妥当であると決定した。

○事務局は、地元団体に対する優遇措置を反映させたいとの合計得点を発表
COMPASS 共同事業体は、81点

○検討会としての検討結果（総合的な所見）について

全体的に応募団体の熱意を感じた提案であり、これまでの実績や経験から安定した運営が期待できる。また、それぞれの共同事業体の強みを生かした組み合わせになっており、スタートアップ企業がスタートアップを支援するという形は北九州発のリーディング的な取り組みになると期待が持てる。今後は、量の拡大はもとより、質へのこだわりについても期待していきたい。

検討会としては、合計得点や提案内容を総合的に勘案し、COMPASS 共同事業体を指定管理者として相応しいと判断する。市は、検討会における議論を参考に、最終決定を行われたい。

○また、付帯意見として、以下を付すこととした。

- ・収支計画については、市の方でしっかりとフォローしていただきたい。
- ・共同事業体の財務面についても、市の方でしっかりとグリップしていただきたい。
- ・今後5年間の中で、新機軸的な色々な事業を立ち上げていただきたい。
- ・入居者がボード企業へ日常的に気軽に相談できる体制がとられるようしっかりとフォローしていただきたい。

○意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。